

内 科

研修科	内科
指導体制	総合内科専門医 1 名（教育指導者） 神経内科専門医 1 名 血液専門医 1 名 日本心血管インターベンション治療学会専門医 4 名 循環器専門医 2 名 日本循環器学会専門医 1 名 日本呼吸器学会専門医 4 名（指導医 1 名） 日本内科学会認定 認定内科医・総合内科専門医 1 名 日本病院総合診療医学会認定専門医 1 名 日本消化器内視鏡学会専門医 1 名 日本消化器病学会専門医 1 名 日本肝臓学会認定肝臓専門医 1 名 日本神経学会専門医 2 名（指導医 1 名） 日本老年病学会専門医 1 名 日本神経学会認定神経内科専門医 1 名（指導医 1 名）
認定	日本内科学会認定教育関連施設（平成 28 年 9 月 1 日）
概要・特徴	<p>内科疾患の診断、治療についての一般的検査から専門的検査、治療までを学ぶことを目標とする。プライマリ・ケアの基本である一般内科研修で内科プライマリ・ケア領域の知識・技術の取得を行う。また、総合内科医を目指す場合にあってはサブスペシャリティーを意識した研修を行い専門として一定レベル以上の知識・技術を取得する。</p> <p>また、内科認定医などの必要資格取得にむけて内科領域の疾病を広く経験し、30 症例以上のレポート作成を通じて初期研修で得た知識・技術を深め信頼される内科医となることを目標としています。</p>
研究等	<p>各時期において研究、勉強会に参加する。各医師に最低年 2 回以上は学会集会へ発表することとし、各種研究会にも適宜参加することを推奨する。</p> <p>研究テーマについても全国で活躍できるレベルを目指すことを目標とする。</p>

<p>経験目標</p>	<p>内科研修医として、3年間の後期研修を一次研修・二次研修として年次ごとを目安とした研修を行う。</p> <p>○後期一次研修（後期1年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合内科医として要求される診療全般について自立して行うことを目標とする。 <p>臨床研修1年目からサブスペシャリティーとして、総合診療内科・消化器内科・循環器科・呼吸器内科・神経内科・血液内科のいずれかの研修を行い、初診患者の病歴・所見の判断結果から、的確な検査および診療・治療が行えることを目標とする。</p> <p>更に患者・家等に適切なインフォームドコンセントが行えるようにする。</p> <p>※上記を指導医とともにやり、オンコール体制の経験等も合わせて基本的に3ヶ月を最小期間としてローテーションを行う。</p> <p>○後期二次研修（後期2年目～3年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブスペシャリティー領域の学会などに積極的に参加し、学会発表・論文発表等の準備、または実際に発表等を経験する。 <p>臨床研修2～3年目より診療科を総合診療内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科・血液内科の中から固定し研修を行うことができる。</p>
<p>取得できる資格</p>	<p>日本内科学会認定専門医：卒後5年目に専門医試験を受験</p>